

フィットシールをブラケットなどの カバーに使った臨床応用

横浜市中区 林歯科医院
林 治幸



一般臨床においてMTMの必要性を痛感したことから、私が発起人となり「矯正を臨床に生かす会」を平成元年に立ち上げた。それから16年の歳月が流れた。毎月の定例会は135回を越え、平成14年には「矯正を臨床に生かす一簡単なことから始めよう」(砂書房)という本を出版した。

その本の中で紹介させていただいたの

がジーシーのフィットシールである。この素材はレジンでありながら硬くならず、ちょうど固めの餅のようになる。元来は窩洞の仮封に使われる素材であるが、ブラケットなどのカバーとしても使いやすい。また、矯正の線の固定としても使えるので、使い方はアイデア次第である。

成人のMTMにおいて装置を入れた途

端、真っ先に苦情がくるのが、「ブラケットがあたる、唇がすれる。」などであるが、前もってその部位にフィットシールでカバーしておけばそのような苦情は避けられる。これからMTMを取り入れる方や、現在行っている方の参考になれば幸いである。

症例1



1
1
2

患者51歳男性。|7のアップライトを行う。ワイヤーはナイチノールである。|4の近心に長めに線を出しておき、フィットシールで固定する。フィットシールはワイヤーのずれ防止と同時にカバーにもなる。



1
3

アップライトに伴い必要になるワイヤーは|4のフィットシールをはがし、ワイヤーを遠心にずらせばよいだけである。



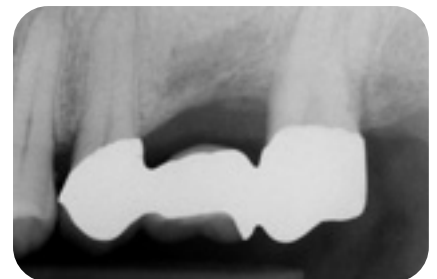
1
4

そのため調整時にワイヤー交換がいらす、簡単にできる。

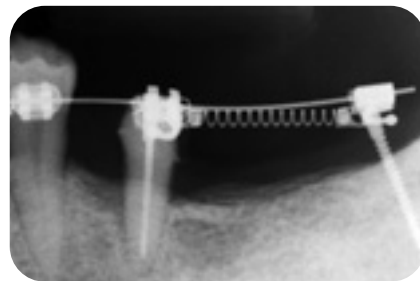


1
5
1
6

2ヶ月のアップライト後ブリッジが合着された。



症例2



2
1

56歳女性。「5」の遠心移動を行う。ワイヤーのずれ防止とカバーのためフィットシールでとめる。

2
3

「7」の部位にマイクロインプラント(MI)を植立し、それをアンカレッジにして「5」の遠心移動をする。



2
4

移動完了、装置除去時。

2
5

形成完了。

2
6

ブリッジ合着。

症例3



3
1

46歳女性。「7」が近心舌側傾斜している。「7」のアップライトのため「7」の遠心にMIをアンカレッジとし、遠心に傾斜移動を行う。

3
2

「7」の近心にもMIを植立し、頬側に傾斜移動を行う。MIの頭部が頬粘膜に当たるのを防ぐため、フィットシールをつけておく。

3
3

「7」の移動に伴い「2」と当たらないように削合しながら移動する。



3
4

「7」のアップライト完了。

3
5

移動することにより生活歯のまま形成できる。

3
6

ブリッジ合着。

症例4

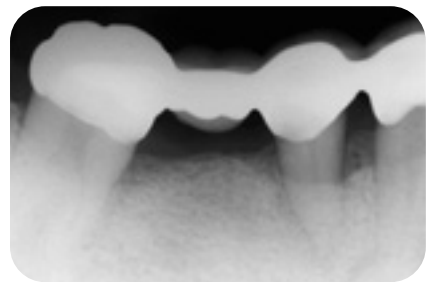


4
1

56歳男性。7のアップライト、5のエクストルージョンを行う。4は同様にフィットシールでカバーする。

4
3

約2ヶ月後。7のアップライト、5のエクストルージョン完了。



4
4

その時のレントゲン。

4
5

ブリッジ合着より約1年後。

4
6

7のアップライトと5のエクストルージョンにより、深いポケットは改善されている。

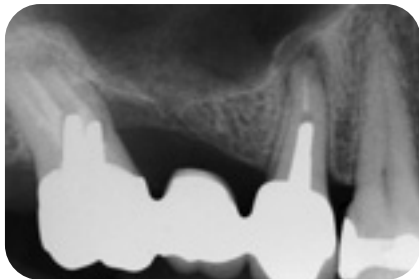
症例5



5
1

39歳女性。矯正治療を始める。口角がもっともあたりやすい $\frac{3}{5} \mid \frac{3}{5}$ にはブラケットセット時にフィットシールでカバーして始めると良い。

症例6



6
1

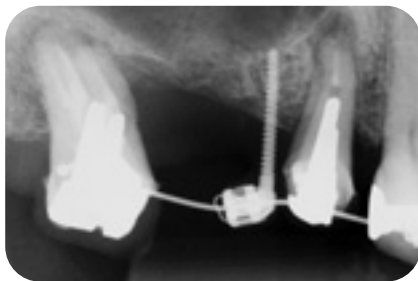
45歳男性、5は根尖病巣、7は頰側にフィステルがある。

6
2

5年後。5の根尖病巣は大きくなり、7のフィステルも改善しないので再植により改善するよう前処置として矯正を始める。



6・4 4は同様にフィットシールで止めた。
7の近心にはフィステルがある。



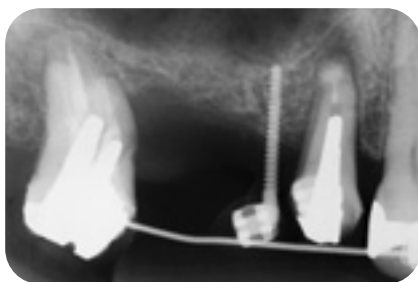
6・5 約1ヶ月半後、5が廷出している。7は
アップライトしながら廷出している。



6・6 左同日 5を再植し、根尖部を光重合
型アイオノマー（フジフィルLCフロー）で
充填する。レントゲン造影性が優れて
いる。フィステルからアクセサリーポイ
ントを挿入したが、途中で止まっている。



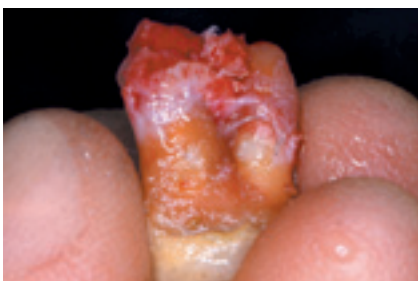
6・7 さらに20日後、アクセサリーポイントは
口蓋根の部位に入った。この部位に穿
孔があるのか？



6・8 矯正開始より2ヶ月強、7はアップラ
イトし、廷出している。ここで7の再
植を行なう。



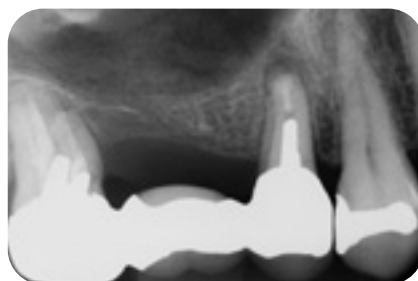
6・9 口蓋根の近心側に穿孔があった。フィ
ステルの原因が判明したのである。そ
の部位を削除。



6・10 フジフィルLCフローにて充填後再植を
行なう。



6・11 再植の固定より2ヶ月、歯槽硬線が見
えてきている。



6・12 再植より3ヶ月、ブリッジ合着。



6・13 再植より約5ヶ月、順調に経過している。



6・14 歯槽硬線が明瞭になっている。